

グリフウィキ (GlyphWiki) で作字されたグリフが Unicode に収録されました

2017 年 7 月 20 日

グリフウィキ管理者 上地宏一 (大東文化大学外国語学部准教授)

<http://glyphwiki.org/>
kamichi@ic.daito.ac.jp

2017 年 6 月 20 日に公開された国際的な文字コードである Unicode 10.0 では 7000 余からなる漢字集合が追加収録されましたが、その一部にグリフウィキで作字されたグリフが収録されました。具体的には CJKV 拡張漢字 F 集合の一部である 2800 字超の SAT (大正新脩大藏經) 漢字、および U+9FD6~U+9FE9 の SLAVONIC IDEOGRAPH (Russian Mission) 漢字について、文字コードへの文字集合追加プロポーザルの段階からグリフウィキで作字したグリフが用いられました。最終的な文字コード表においてもグリフウィキ作字グリフが掲載されています。

CJK Extension F

<http://www.unicode.org/charts/PDF/U2CEB0.pdf> (4MB)

CJK Unified Ideographs (Han)

<http://www.unicode.org/charts/PDF/U4E00.pdf> (35MB)

グリフウィキプロジェクトでは従来「花園フォント (花園明朝)」として Unicode 収録全漢字のフリーフォントとしての公開を行ってきました。この度、Unicode 追加収録提案においてグリフウィキプロジェクトの成果が活用されたことに対して大変喜ばしく思っており、ここにご報告申し上げる次第です。

この成果は、グリフウィキサーバ設置元である大東文化大学、(独法) 日本学術振興会 (科学研究費補助金)、花園大学国際禅学研究所などの組織や補助金をはじめ、CHISE プロジェクト、漢字データベースプロジェクト、(一財) 人文情報学研究所をはじめとするデジタル・ヒューマニティーズ組織や研究者の協力により実現したものです。さらにはグリフウィキデータベースにグリフを登録した多数のボランティア・ユーザーの活動が不可欠であったと認識しております。

今後はグリフウィキの全世界的な、さらなる利用を図るものとし、また関連研究者や組織との連携をいっそう強化して人文 (文字) 情報学の発展に寄与していく所存です。